



南つるぎ活性化協議会のボランティアによる登山道の修理を行いました

剣山の登山口といえば、北側ルートが一般的で大きな駐車場やリフトが整備され、気軽に登山出来ますが、南つるぎ地域活性化協議会では、剣山南部の剣山スーパー林道付近の知られていない観光スポットの紹介や山岳マラソンなど様々なイベントを行い観光資源として広めようと活動しています。

今年度は本格的な登山シーズンを迎える6月23日(日)、協議会の会員及び徳島森林管理署の職員の21名により、登山道から「ホラ貝の滝」までの歩道修理や転落防止のロープ手すりなどの整備を行い、また、谷を渡る箇所については木製の板による橋を整備するなど、安全に登山が出来るよう作業を行いました。



出発前の打ち合わせ



親子で歩道を修理



木板による橋を作ります



参加者全員で記念撮影



タワーヤード集材の様子



タワーヤードとプロセッサ



森林整備部長の講評



参加の皆さん

タワーヤード集材現地検会を開催しました

6月25日、香川県まんのう町の奈良ノ木国有林において徳島署と香川森林管理事務所と共催で、効率的で低コストな木材搬出を担う林業技術者を育成するため、「高性能林業機械タワーヤード現地検討会」を開催し、徳島・香川両県の県庁、市町村、林業事業体、森林管理署から65名が参加しました。

現地検討会は、立木販売の皆伐箇所において、美馬森林組合によるタワーヤード集材を視察した後、意見交換会を行い、「タワーヤード集材とプロセッサ造材による作業システムは、少人数で作業ができることが魅力」など、活発な意見が出されました。

今後も、意見や要望等を踏まえ、低コスト林業の普及や林業技術者の育成に向けた取り組みを進めてまいります。

祖谷のかずら橋の保存のためのシラクチカズラの苗木植栽を行いました

国指定重要有形民俗文化財である祖谷のかずら橋は三年に一度架け替えを行っていますが、架け替え資材となる太いシラクチカズラの蔓は年々減少し採取が困難になっており、徳島森林管理署では三好市、つる性植物の専門知識を有する香川大学農学部と連携し資源の確保に向け協定を結んでいます。

6月26日、地元の西祖谷中学生により3~5年前に先輩が挿し木により育てたシラクチカズラの苗木100本を、シカ食害防止ネットや、採光のため伐採し整備を行った国有林内で香川大学片岡副学長の指導の下、苗木の植栽式を行いました。

中学生の皆さんも最初は慣れない手つきでクワを持ちながら作業していましたが、次第に手際良く苗木を植栽し、苗木のつるを結びつける作業などを参加者全員で行いました。



片岡副学長による植栽指導



苗木のつるを結び付けます



慣れないクワとの格闘



植栽地で記念撮影



徳島署庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署  
TEL:088-637-1230 / FAX:088-666-1818  
〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1



国民の森林・国有林